

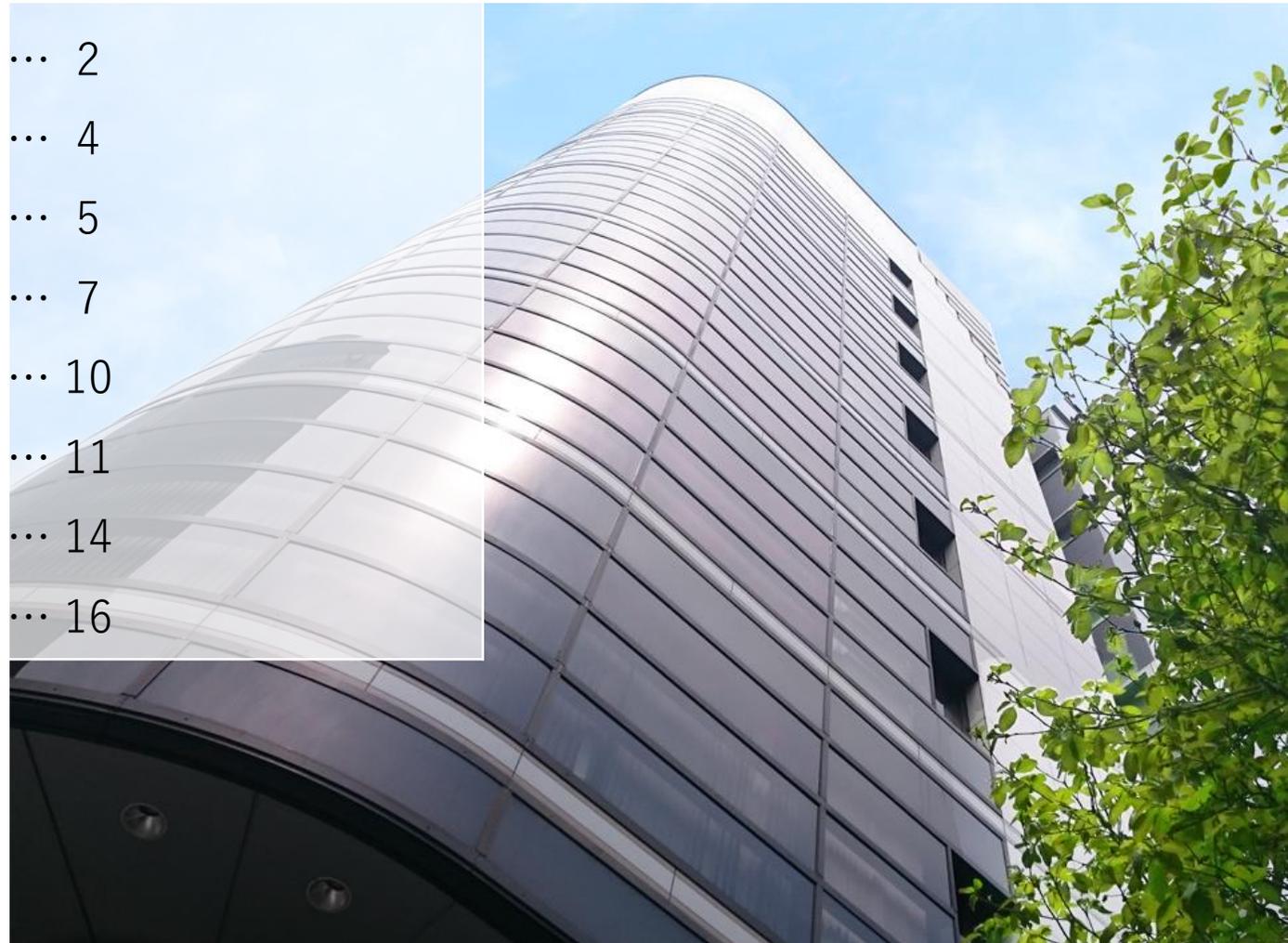
2023年9月期 第3四半期
(2023/4-6)

決算説明資料

2023年9月
株式会社CSSホールディングス

目次

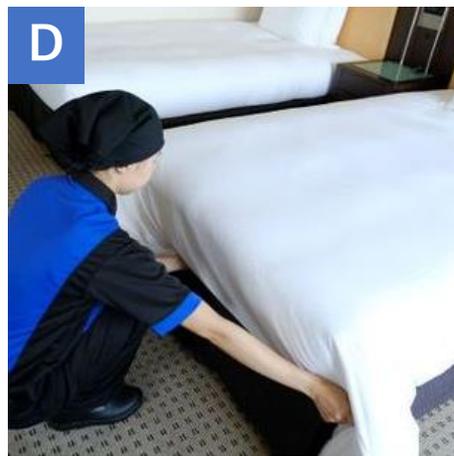
| | |
|----------------|------|
| ◆ 事業紹介 | … 2 |
| ◆ 中期経営計画 | … 4 |
| ◆ 業績概況 | … 5 |
| ◆ 事業概況 | … 7 |
| ◆ 財務状況 | … 10 |
| ◆ 事業トピックス | … 11 |
| ◆ ESG課題への取組み推進 | … 14 |
| ◆ ESG経営指標 | … 16 |



スチュワード事業

株式会社
CENTRAL SERVICE SYSTEM GROUP
セントラルサービスシステム

Cf. 求人情報



フードサービス事業

株式会社
CENTRAL SERVICE SYSTEM GROUP
センダン

Cf. 求人情報



Patriot Baton



空間プロデュース事業

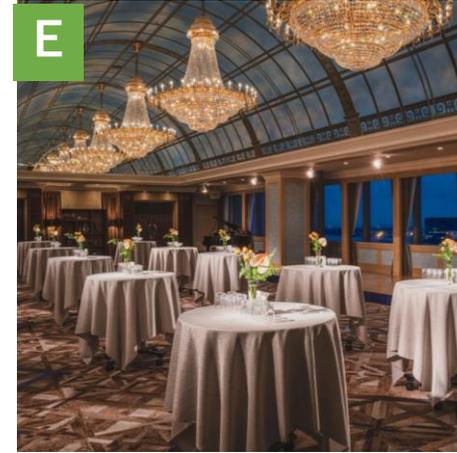
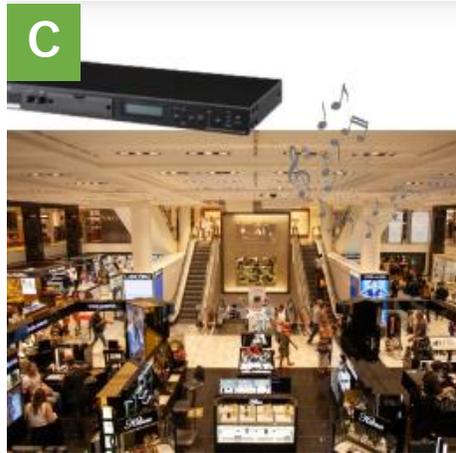
東洋メディアリンクス株式会社

Cf. [導入事例](#)

MOOD:MEDIA™

Cf. [導入事例](#)

音響特機株式会社

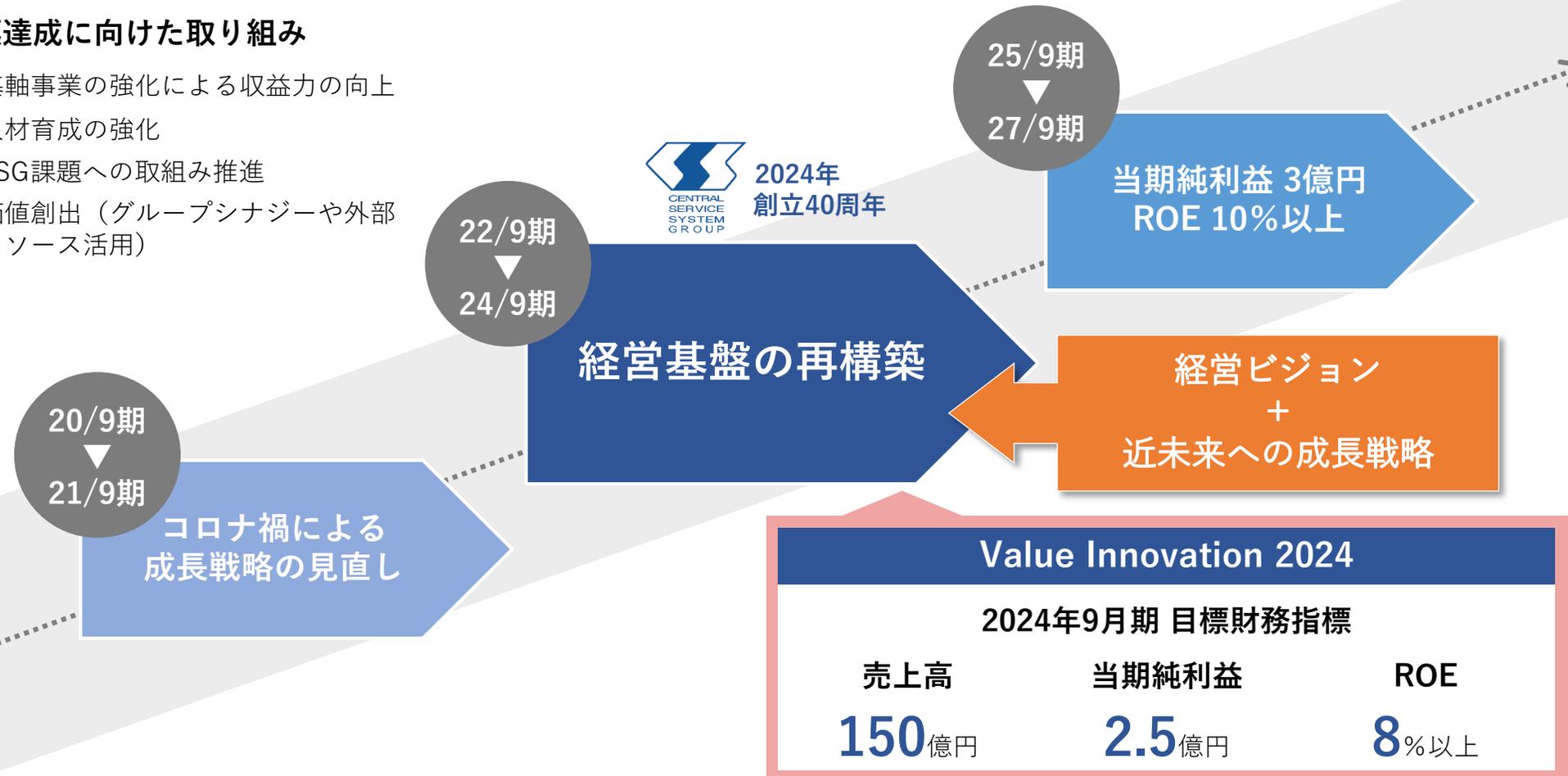


中期経営計画「Value Innovation 2024」

経営基盤の再構築とともに、経営ビジョンと近未来への成長戦略をブラッシュアップし、次期計画期間中の当期純利益3億円、ROE10%以上の目標に向けた成長を加速させてまいります。

目標達成に向けた取り組み

- ▶ 基軸事業の強化による収益力の向上
- ▶ 人材育成の強化
- ▶ ESG課題への取組み推進
- ▶ 価値創出（グループシナジーや外部リソース活用）



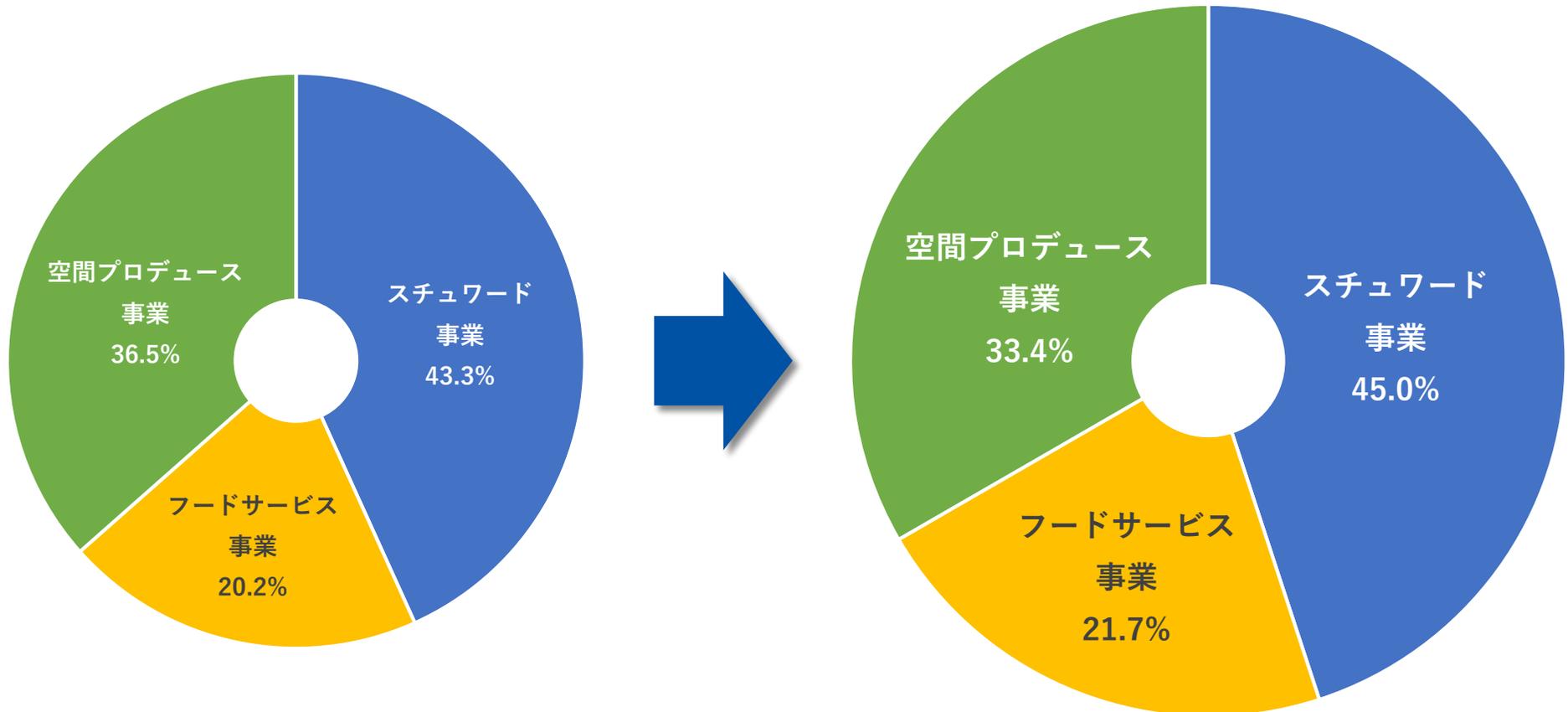
3Q累計・通期予想

対前年で売上+29億、営業利益ベースで黒字転換
 当期純利益は対前年1.9倍となり、コロナ禍前の水準に

| | 3Q累計 | | | 通期 | |
|---------------------|--------------|--------------|--------|--------------|----------------------|
| | 2022年 9月期 | 2023年 9月期 | 対前年比 | 2022年 9月期 | 2023年 9月期 (予想) |
| 売上高 (百万円) | 7,936 | 10,915 | +2,979 | 10,883 | 14,508 |
| 営業利益 (百万円) | △183 | 266 | +449 | △186 | 270 |
| 経常利益 (百万円) | 52 | 299 | +247 | 81 | 303 |
| 当期(四半期)純利益 (百万円) | 66 | 234 | +167 | 102 | 197 |
| 一株当たり当期(四半期)純利益 (円) | 13.40 | 46.93 | +33.53 | 20.63 | 39.56 |

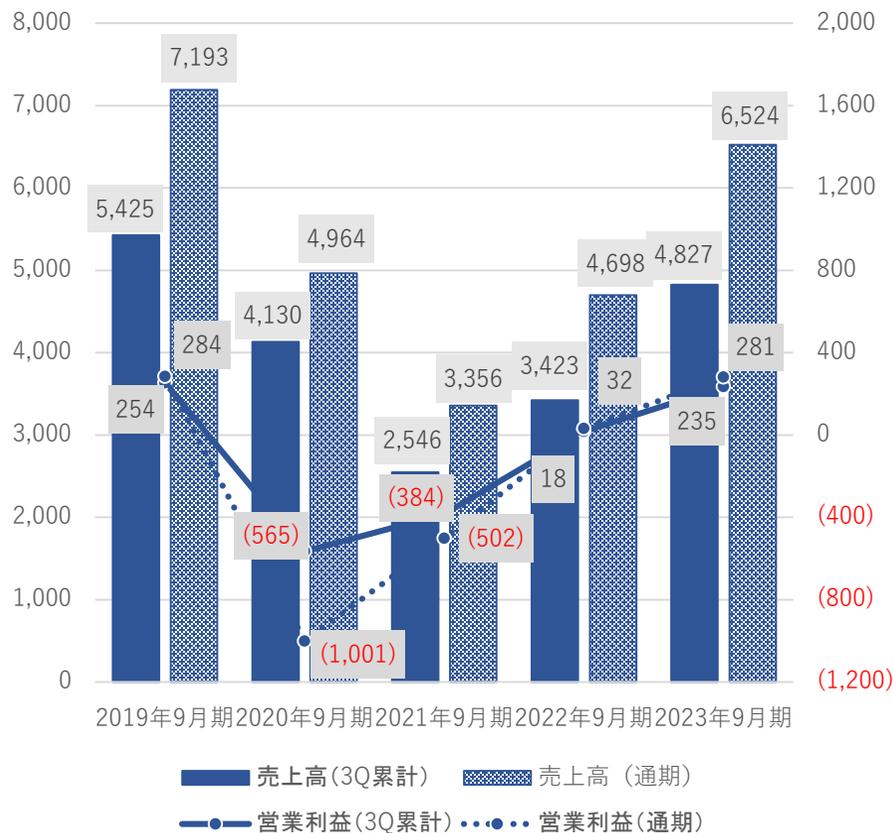
売上セグメント構成比

3事業セグメントともに売上を伸長する中、
構成比はスチュワード事業とフードサービス事業が微増



スチュワード事業

3Q累計・通期の実績／予測推移（単位：百万円）

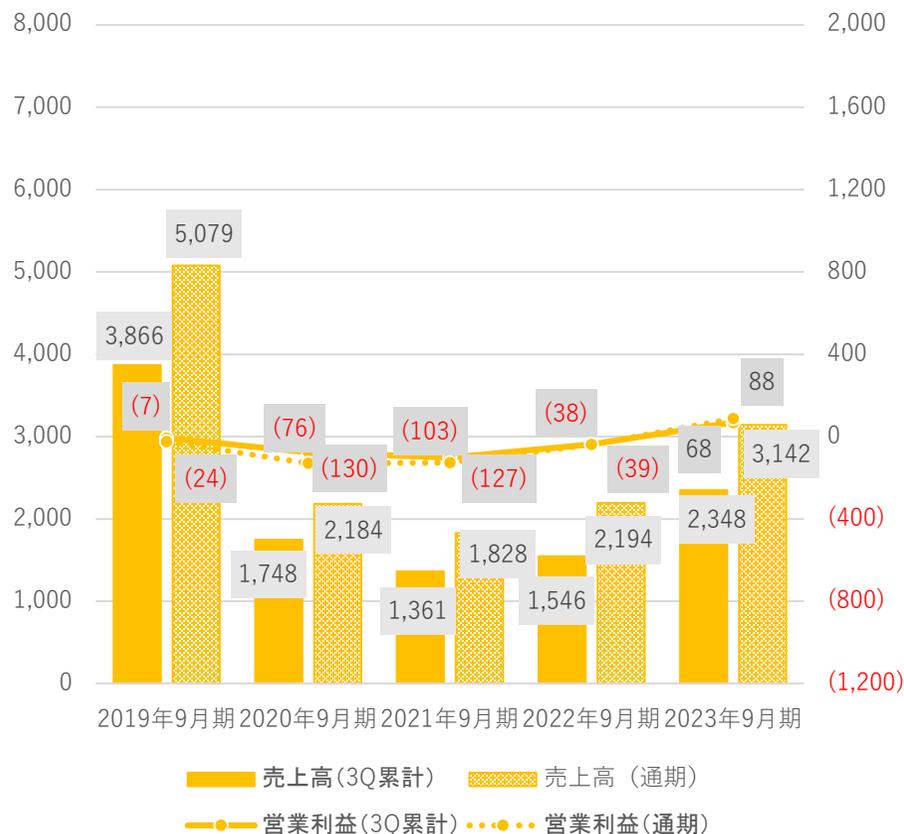


マーケット環境と取組状況

- 今春新規オープンしたブルガリホテル東京様をはじめとして当第3四半期において**新たに6件の業務を受注・開始**、第4四半期の既決案件を累計すると**当初計画今期売上145百万円の1.4倍超**の新規開業ペースとなっています
- 新規開業準備に伴って採用募集費が上昇傾向にありますが、残業費などを含む**労務費率は予算内で推移**、賃金ベースも上昇する中、お客様の稼働状況見込みに対する期待値をすり合わせながら品質とコストの両立に取り組んでいます
- 重点アクションプランとして取り組んでいる、客室・パブリック清掃業務の売上拡大については、全売上に対する当該売上比率2.86%を計画しておりましたが、スチュワード業務の増収影響もあり、同2.46%と計画に0.4pt届いておりません。一方、着実に売上を伸ばしながら**今期新規開業した4事業所が共に黒字化を達成**するなど堅実な成果を出しています

フードサービス事業

3Q累計・通期の実績／予測推移（単位：百万円）

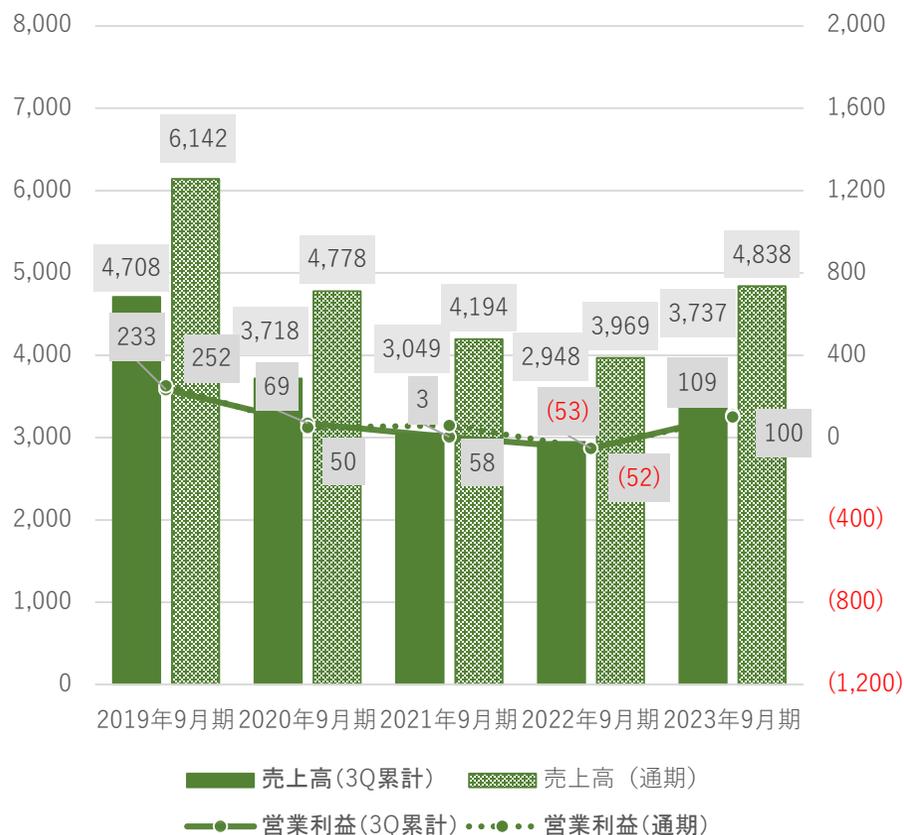


マーケット環境と取組状況

- 観光・レジャー業界の活況の中、当社への業務委託のお引き合いは着実に増加しており、東京ベイエリアのリゾートホテル従業員食堂と宿泊特化型ホテルの朝食レストランの**2件の新規受託をスタート**、第4四半期の既決案件を累計すると**当初計画7件の2.5倍超**の新規開業ペースとなっています
- 中核の売上を構成するホテルの朝食レストランの受託事業は、ホテル宿泊者の喫食率の影響を受ける事業構造であるのに対して、**インバウンド宿泊者の急増、団体旅行とりわけ修学旅行や合宿旅行の需要復活**は、業績計画を上回る大きな要因となっています。
- 新規開業ラッシュに備えて計画的に人員体制整備を進めること、食材コストの高騰に対して食材の原材料と飲料に係るFBコストの**モニタリングおよびアラートに対する改善強化**を継続的に進めています。

空間プロデュース事業

3Q累計・通期の実績／予測推移（単位：百万円）



マーケット環境と取組状況

- 計画を大幅に上回る収益を確保した前第2四半期の反動は想定ほどでなく、**当第3四半期も見通しを上回る利益着地**となりました
- とりわけ**監視カメラ関連および音響設備の更新需要が堅調**であること、**AV関連の投資意欲活性化**などがセグメント各社の業績底上げに寄与しています
- 業界全体で展示会、研修会、デモ・視聴会を含む**商談機会が増えて**おり、当社グループも精力的に取り組むと共に、**メーカーからの高い売り込み意欲**という好機を活かすよう営業活動を推し進めています
- **自社ビルカメラを活用**し、人の動作や行動、滞在時間、物体の移動等を**AI検出して空間を可視化する**ことで、ホテル業界をはじめとした商業施設・小売店といったサービス業界で深刻化する人手不足の問題を解決し、サービス品質の維持・向上に貢献すべく**実証実験を進めています**

財務指標推移

株主還元は、継続的かつ安定的配当を行いつつ、総合的に還元性向を検討
 事業基盤強化は、M&Aのみならず資本提携・業務提携など幅広く関係構築を検討

| | 2019年 9月期 | 2020年 9月期 | 2021年 9月期 | 2022年 9月期 | 2023年 9月期 (予想) |
|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------------|
| 当期純利益 (百万円) | △110 | 23 | △420 | 102 | 197 |
| 有利子負債 (百万円) | 1,075 | 1,215 | 1,105 | 989 | 750 |
| 純資産 (百万円) | 2,639 | 2,573 | 2,124 | 2,168 | 2,296 |
| 総資産 (百万円) | 5,855 | 5,604 | 4,701 | 5,096 | 5,370 |
| 自己資本比率 (%) | 45.1 | 45.9 | 45.2 | 42.6 | 42.8 |
| ROE (%) | △4.0 | 0.9 | △17.9 | 4.8 | 8.6 |
| 通期配当金 (円) | 10 | 5 | 5 | 15 | 17 |
| 連結配当性向 (%) | - | 107.5 | - | 72.7 | 44.2 |

環境課題解決事業 「Re&Go（リーアンドゴー）」へ参画



NISSHA 株式会社と NEC ソリューションイノベーション株式会社が共同で開発、カフェ・コンビニなどの対象店舗にて実証実験を進めてきた、[繰り返し利用できる容器のシェアリングサービス「Re&Go（リーアンドゴー）」](#)に、洗浄パートナーとして参画いたしました。当事業の今後さらなる拡張による環境へ貢献の一助を担うべく、当社の洗浄衛生に関するノウハウを活かすことで生産性向上を推進します。

cf. [2023/8/22リリース](#)

清掃ロボット テクニカルサポート認定証取得



予てから運用を進めていた清掃ロボットの積極的な活用に向け、5月に当社グループ本社にてGAUSIUM社および同社国内一次代理店である株式会社天時情報システムによる資格取得に向けた講習を受講し、GAUSIUMロボット海外代理店テクニカルサポートスペシャリスト認定証を取得いたしました。スタッフは導入設定が可能となり、現在実証実験中の施設のほか、今後のお客様の導入支援に貢献します。

センダン四国初進出！ホテルビスタ松山 朝食レストランを新規受注



松山城、道後温泉など四国を代表する観光地・松山。夏目漱石や正岡子規など、明治時代に活躍した文豪ゆかりの地でもあるここ松山が、センダンの四国初進出です。

朝食メニューは、愛媛ご当地メニューの芋炊きや、名物B級グルメ 今治焼豚玉子飯などのほか、若鶏照焼きポンジュースソース、塩みかんカレー、愛媛塩パンなどの特産アレンジメニューをご提供しております。

スイスホテル南海大阪 従業員食堂 「大阪版食の安全安心認証制度」取得



スイスホテル南海大阪にて、従業員食堂の業務委託業者として「大阪版食の安全安心認証制度」を取得しました。

大阪版食の安全安心認証制度とは、HACCPによる衛生管理の考え方を取り入れた認証基準で、衛生管理のみならずコンプライアンス・危機管理の項目も含まれており、一人ひとりの従業員の衛生管理水準の向上に対する意識と取り組みが必要です。



玉川大学工学部プロジェクト型授業 「ビジネスコンテンツ」大会参加



玉川大学工学部マネジメントサイエンス学科の学生達が参加するプロジェクト型授業「[ビジネスコンテンツ](#)」大会に参加し、人手不足の社会問題に対する課題解決をテーマとして提案し、約60名の学生達から解決策のアイデアをプレゼンテーション頂きました。次世代を担う学生達が社会課題を理解し、新たなビジネスチャンスを発掘する意識を高めていることを再認識し、今後も持続的な学生支援を推進、共創の精神を持って社会課題解決へと挑んで参ります。



【CAFERES JAPAN 2023】 セミナーで登壇いたしました



2023年8月2日(水)～4日(金)に東京ビッグサイトで開催された【CAFERES JAPAN 2023】において、Mood Media Japan株式会社 シニア・ミュージック・デザイナー植木 美央が株式会社ヤマハミュージックジャパンの野呂 潤氏とともに、「店舗のBGMデザインセミナー～音楽で心を動かすブランド体験をつくるためには～」をテーマに、BGMの重要性や音楽デザインについて導入事例を踏まえてお話させていただきました。

■東京聖栄大学、臨地実習受け入れ



株式会社センダンでは、東京聖栄大学の管理栄養士養成を目的に、6名が臨地実習として7日間事業所現場、2日間本社衛生栄養管理室にて実習に参加いたしました。実習では調理補助、盛り付け、メニュー表の作成、SDGsメニューのPOPの作成、アレルギー展開レシピの作成、食育原稿の作成の課題を行い、栄養士として実際の業務を体験していただきました。また実際に就職した際のイメージを掴んでいただけるよう、取り組み内容も工夫を重ねています。学生からも大変好評の制度であり、実際新卒の採用に繋げています。

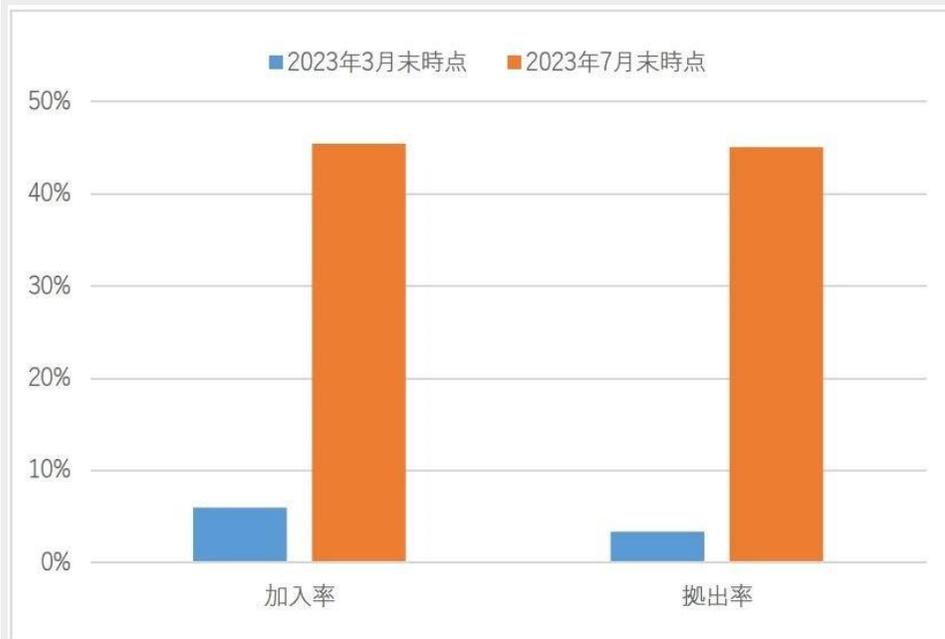
■フードシェアリングサービス「TABETE」の導入拡大中



フードサービス事業で運営する朝食buffetレストランでは、HACCP衛生基準を保ちながら、フードシェアリングサービス「TABETE」の導入施設を拡大しています。「TABETE」とは、まだおいしく安全に食べられるのに「食品ロス」の危機に面している食べものを、ユーザーとマッチングするしくみです。この度、新たに5店舗が導入し、計8店舗となりました。ノウハウを活かし、顧客へ積極的に提案することで、ホテル・レストランにおける食品ロス削減に貢献してまいります。



■従業員持株会、4ヶ月間で加入率が7.6倍に



| | 2023年3月末時点 | 2023年7月末時点 | 伸び率 |
|------|------------|------------|-------|
| 加入率 | 5.96% | 45.39% | 7.6倍 |
| 抛却率 | 3.33% | 45.04% | 13.5倍 |
| 購入月額 | 154千円 | 1,952千円 | 12.6倍 |

■施策内容

かねてより運用されてきた従業員持株会につき、自社株式取得および保有を促進し、自社株式への興味関心を喚起ならびに経営参画への意識を向上させるため、2023年5月から3か月間、奨励金付与率を100%とするキャンペーンを実施いたしました。また、付与条件を満たす全ての会員を対象として、一人当たり当社株式40株相当額の特別奨励金を支給する特別奨励金スキームを導入いたしました。

■施策効果

本施策開始後、対象者に対し社内説明会の開催等、加入促進を行った結果、2023年7月末時点で加入率45.39%、抛却率45.04%となり、本施策開始前と比較し、加入率が約7.6倍、抛却率は13.5倍となりました。また、東京証券取引所が2023年6月に発表した「2021年度従業員持株会状況調査結果の概要について」の「従業員持株会の加入状況」は37.65%であり、当社の加入率はこれを上回る水準となりました。

ESG経営指標

連結従業員数
(うち パート・アルバイト)



5,757名
(5,261名)

女性管理職比率



22.9%

シニア従業員雇用率
※65歳以上



22.0%

パート・アルバイト
永年勤続表彰者数



127名
※2023年度10年勤務および
20年勤務者合計

有給休暇取得日数



平均8.1日

産・育休取得率
※女性社員



100%

産・育休復帰率
※出産女性社員



80.0%

外国人従業員
国籍数



66カ国
※過去10年実績

(2023年3月31日更新)

免責事項

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ

株式会社CSSホールディングス 経営企画室

TEL 03-6661-7840

FAX 03-6661-7841

E-mail hld-info@css-ltd.co.jp